

# 2021年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2021年2月16日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2021年2月16日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

I .2021年3月期第3四半期の決算及び事業の概況

II .当社の経営目標及び株主還元について

# I .2021年3月期第3四半期の決算及び事業の概況



## ▶ FX事業の取り組み

### ◆顧客取引の拡大を図る取り組み

- ・キャンペーンを通じてスプレッドの縮小を段階的に実施
- ・新規顧客獲得にも注カシ口座開設キャンペーンを拡充

### ◆スワップカバー手法の変更により収益性の向上を図る



11月以降は月次の営業収益がコロナ禍前の水準まで回復して堅調に推移



11月以降は月次の営業収益がコロナ禍前の水準まで回復して堅調に推移

月次の営業収益（単位：百万円）

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
407	303	318	282	309	310	273	355	495	413



第3四半期の経常損益は大幅に改善

（単位：百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	増減
営業収益	1,030	902	1,123	221
経常損益	△ 235	△ 359	△ 103	256

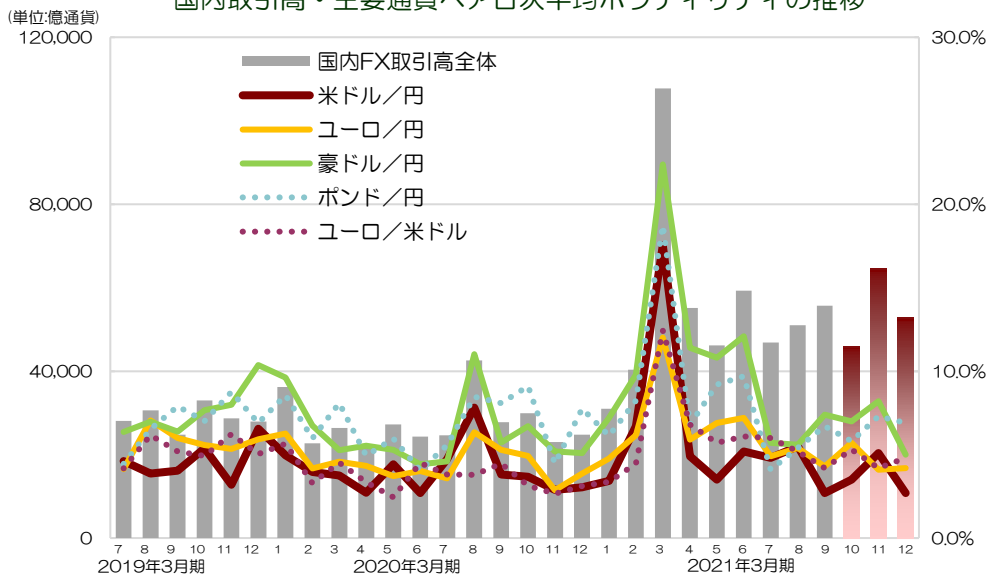


# 国内FX取引高は引き続き堅調に推移

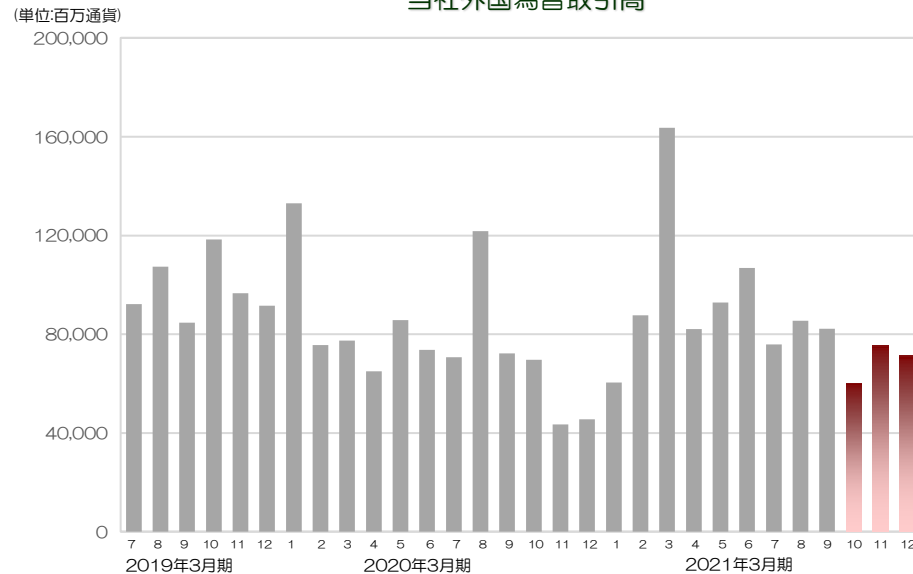
市場
当社

- 国内FX取引高について、10月は低水準の推移となったが、11月は米大統領選挙や新型コロナウイルスワクチン報道等があり、前四半期より全体的に増加。
- ボラティリティについて、11月はユーロ以外の通貨は持ち直しの傾向となったが、第3四半期末にかけて、米ドル/円・豪ドル/円は大幅な低下となった。
- 当社の第3四半期におけるFX取引高は前四半期比で15.2%減少。
- 10月は市場と同様にFX取引高は減少となったが、11月からスプレッド縮小を段階的に実施したことや、各種キャンペーン等による取引拡大に向けた施策が奏功して増加傾向。

国内取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



当社外国為替取引高





## ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益 ▲292百万円

### 収 益

- ・ トレーディング損益194百万円の増加等により2Qから221百万円の増加。

### 費 用

- ・ 租税公課の増加があったものの、コスト見直しによる広告宣伝費の減少や、システム関連保守費用の減少等により2Qから37百万円の減少。

### 特 別 損 失

- ・ 将来使用見込みのなくなったソフトウェア・ハードウェア除却に伴う固定資産除却損82百万円及び減損処理による投資有価証券評価損99百万円を計上。

### 経 営 成 績

- ・ 営業利益 ▲101百万円（2Q ▲346百万円）
- ・ 経常利益 ▲103百万円（2Q ▲359百万円）
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益 ▲292百万円（2Q ▲332百万円）





## ■ 前四半期比決算概況

	2021/3期 2Q (2020/7~2020/9)	2021/3期 3Q (2020/10~2020/12)	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,436 億通貨単位	2,066 億通貨単位	▲15.2%
営業収益	902 百万円	1,123 百万円	24.5%
純営業収益	835 百万円	1,042 百万円	24.7%
経常利益	▲359 百万円	▲103 百万円	—

## ■ 損益影響ファクター

前四半期比

FX取引高 →

FX収益性 →

販管費 →

- 当四半期の取引高は、10月の取引高が2020年1月以来の低水準となったことや、ドル/円のボラティリティ低下等の影響により15.2%減少。
- 11月後半よりスワップカバーの手法変更等によりスワップの収益性が向上。
- コスト見直しによる広告宣伝費及びシステム保守関連費用等の減少があったことから3.2%減少。

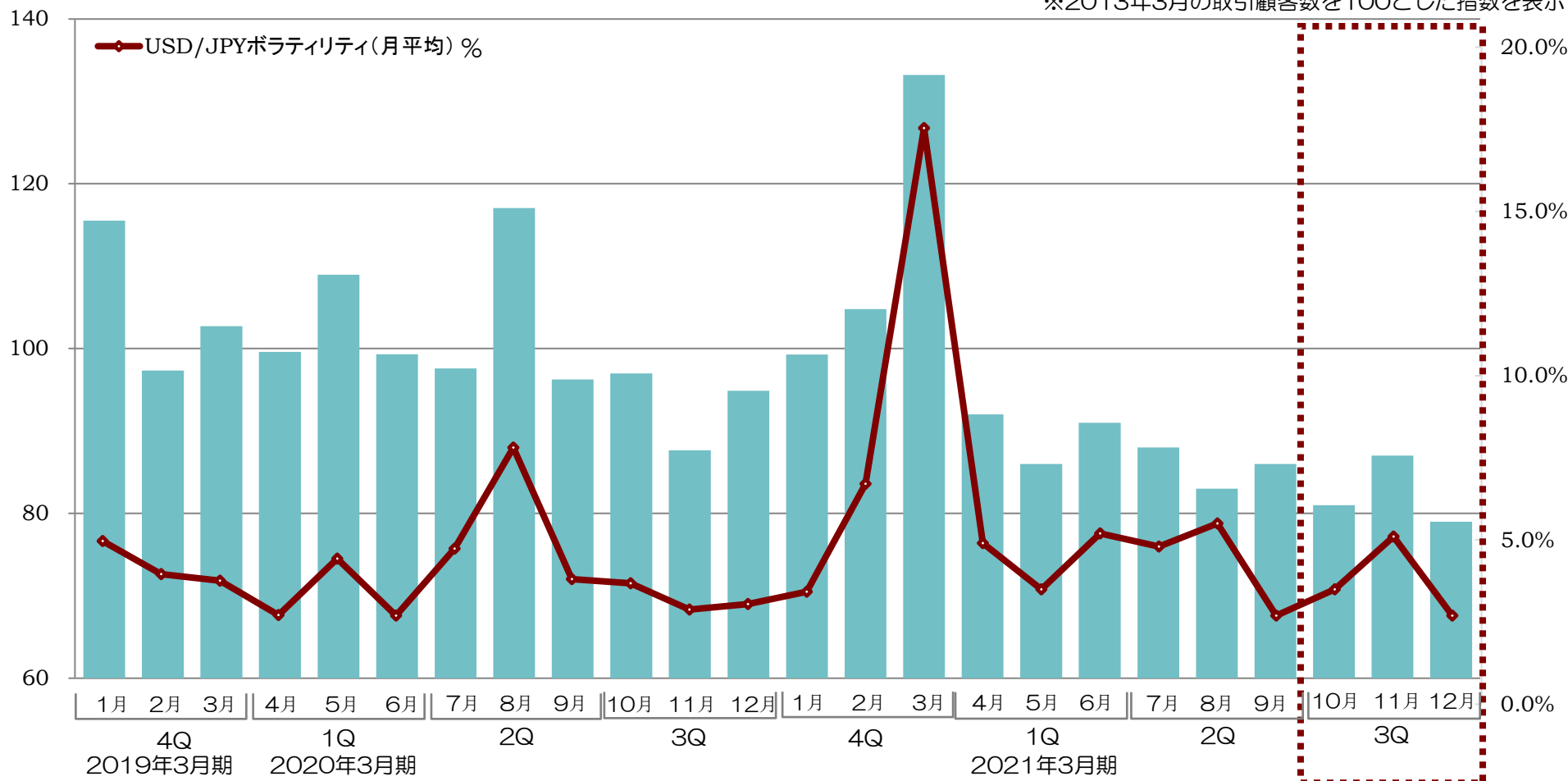


# 取引顧客数の推移

Money Partners Group

## ■ 当社FX取引顧客数（※）及び米ドル／円ボラティリティの推移

※2013年3月の取引顧客数を100とした指数を表示



- 米ドル／円の変動率は、11月の米大統領選挙や新型コロナウイルス感染症関連報道により持ち直しの傾向が見られたが、12月は主となるイベント等がなく年末に向け一転して低下。
- 取引顧客数は前四半期から3.8%の減少。



# 四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 四半期毎のP/L主要数値推移

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				2021/3期		前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
営業収益	1,519	1,305	1,396	1,136	2,034	1,030	902	1,123	24.5%
受入手数料	21	25	25	17	16	7	9	8	▲5.4%
トレーディング損益	1,389	1,161	1,287	1,091	1,860	995	851	1,045	22.9%
金融収益	21	24	16	15	8	2	1	0	▲40.3%
その他の売上高	86	94	67	11	148	23	41	68	66.2%
金融費用	48	50	47	48	46	43	41	42	2.0%
売上原価	73	76	54	3	128	10	25	39	53.0%
純営業収益	1,397	1,178	1,293	1,084	1,859	976	835	1,042	24.7%
販売費・一般管理費	1,115	1,103	1,164	1,232	1,294	1,212	1,181	1,143	▲3.2%
営業利益	281	75	129	▲147	564	▲235	▲346	▲101	—
経常利益	287	60	124	▲148	559	▲235	▲359	▲103	—
税金等調整前四半期純利益	306	60	124	▲228	559	▲235	▲359	▲292	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	219	38	57	▲190	344	▲223	▲332	▲292	—
営業収益経常利益率	18.9%	4.6%	8.9%	▲13.1%	27.5%	▲22.9%	▲39.8%	▲9.2%	—

損益については、「営業収益」が「トレーディング損益」及び「その他の売上高」の増加により大幅に改善。また、コスト見直し等により「販売費・一般管理費」は減少となり、営業利益は▲101百万円、経常利益は▲103百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は▲292百万円となった。



# 四半期販管費推移

Money Partners Group

## ■ 販管費内訳及び主要費目の推移

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				2021/3期			前四半期 対比増減
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
	(1月~3月)	(4月~6月)	(7月~9月)	(10月~12月)	(1月~3月)	(4月~6月)	(7月~9月)	(10月~12月)		
取引関係費	362	349	359	338	398	313	297	276	▲7.0%	
人件費	238	227	274	261	295	291	285	273	▲4.4%	
不動産関係費	172	166	165	182	178	168	163	156	▲4.2%	
事務費	212	228	225	252	202	224	229	222	▲3.0%	
減価償却費	87	86	93	148	151	153	173	173	0.2%	
租税公課	29	20	30	28	43	31	15	22	47.5%	
貸倒引当金繰入れ	0	—	▲0	▲0	1	▲1	▲0	▲0	—	
その他	11	23	14	21	23	30	17	18	9.0%	
販売費・一般管理費計 (主要な費目)	1,115	1,103	1,164	1,232	1,294	1,212	1,181	1,143	▲3.2%	
広告宣伝費(※1)	148	142	151	147	153	108	116	101	▲12.6%	
システム関連費用(※2)	317	317	315	346	296	320	326	308	▲5.4%	

※1 取引関係費の一部となります。

※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

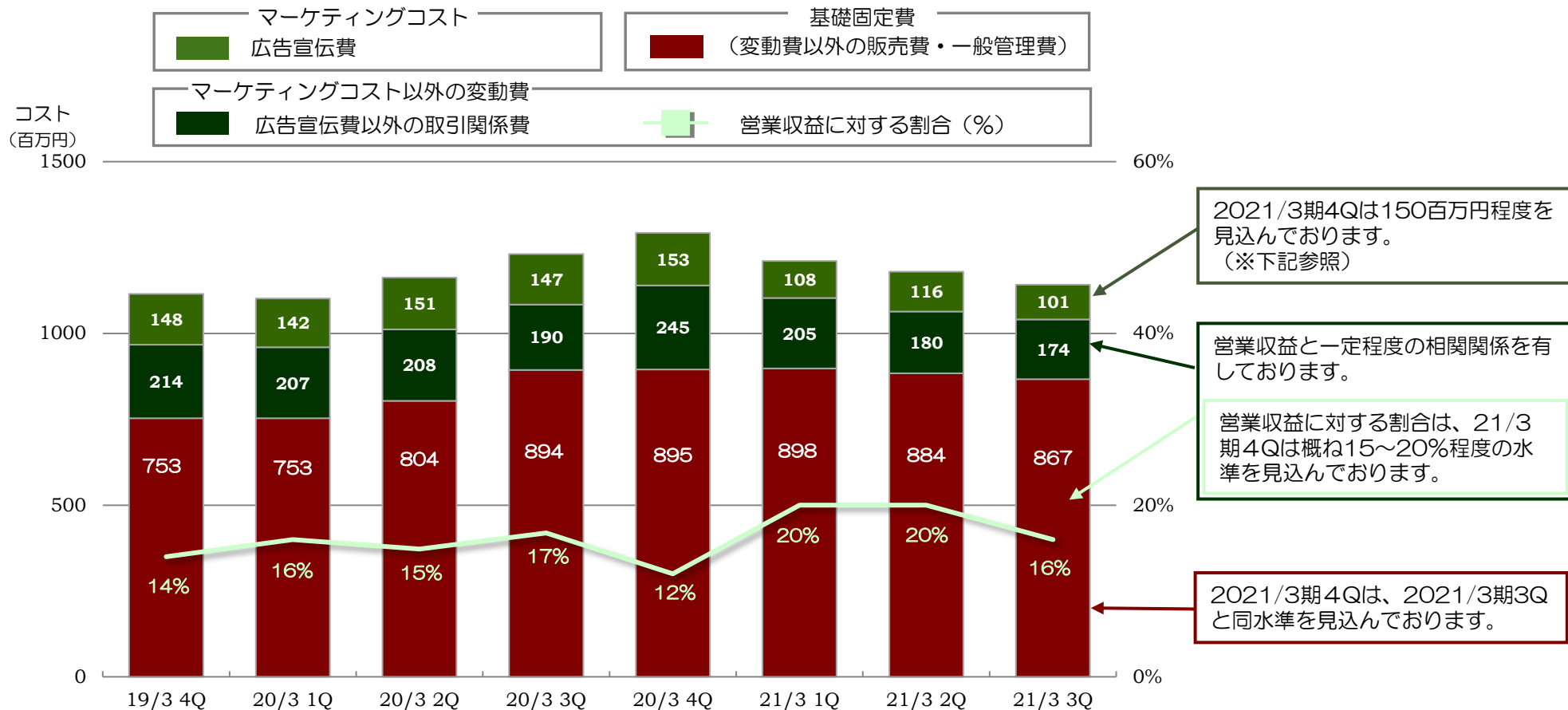
### <主な増減要因(前四半期との比較)>

- 取引関係費(減少) : 広告宣伝費の見直し及び外国為替取引高減少に伴う支払手数料の減少
- 人件費(減少) : 人員の減少
- 不動産関係費(減少) : システム関連保守等の見直しにより減少



# 四半期固定費・変動費推移と今後の動向

## ■ 主要な固定費・変動費の推移



2021/3期4Qはマネーパートナーズの新規口座獲得等に伴う広告宣伝費の増加を見込んでおり、基礎固定費は概ね2021/3期3Qと同水準を見込んでおります。



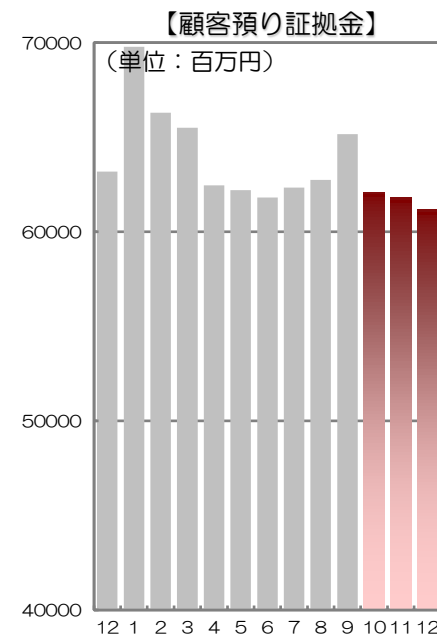
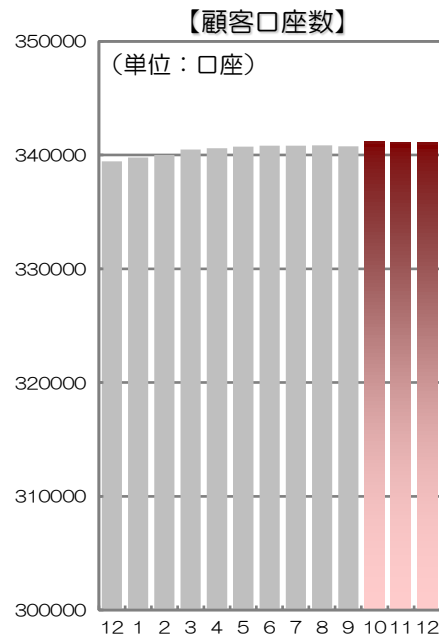
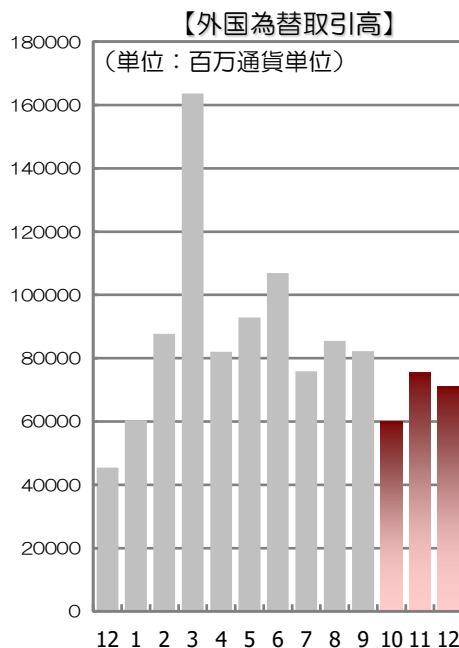
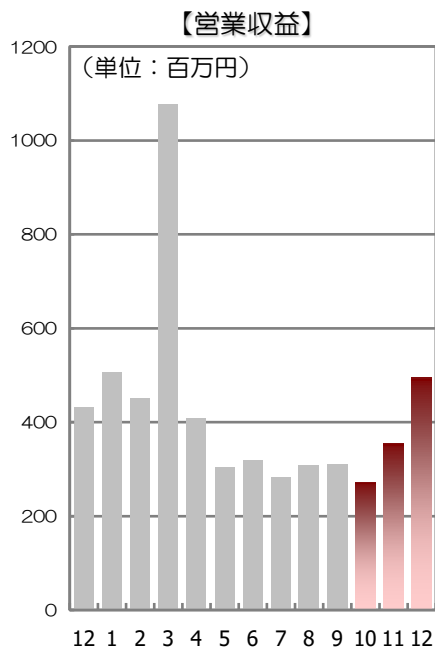
# 月次業績指標推移

Money Partners Group

## ■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2020/3期			2021/3期									
	12月	2020/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (百万円)	432	506	450	1077	407	303	318	282	309	310	273	355	495
外国為替取引高 (百万通貨単位)	45,475	60,432	87,717	163,604	82,072	92,851	106,893	75,910	85,460	82,287	60,129	75,348	71,190
顧客口座数 (口座)	339,443	339,790	340,014	340,483	340,605	340,735	340,825	340,830	340,840	340,768	341,218	341,138	341,086
顧客預り証拠金 (百万円)	63,183	69,788	66,290	65,510	62,460	62,004	61,807	62,331	62,751	65,155	62,104	61,812	61,175
内、一般顧客 (BtoB以外)	58,072	64,763	61,596	62,895	60,227	59,654	59,267	60,022	60,364	63,044	60,121	59,849	59,365

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

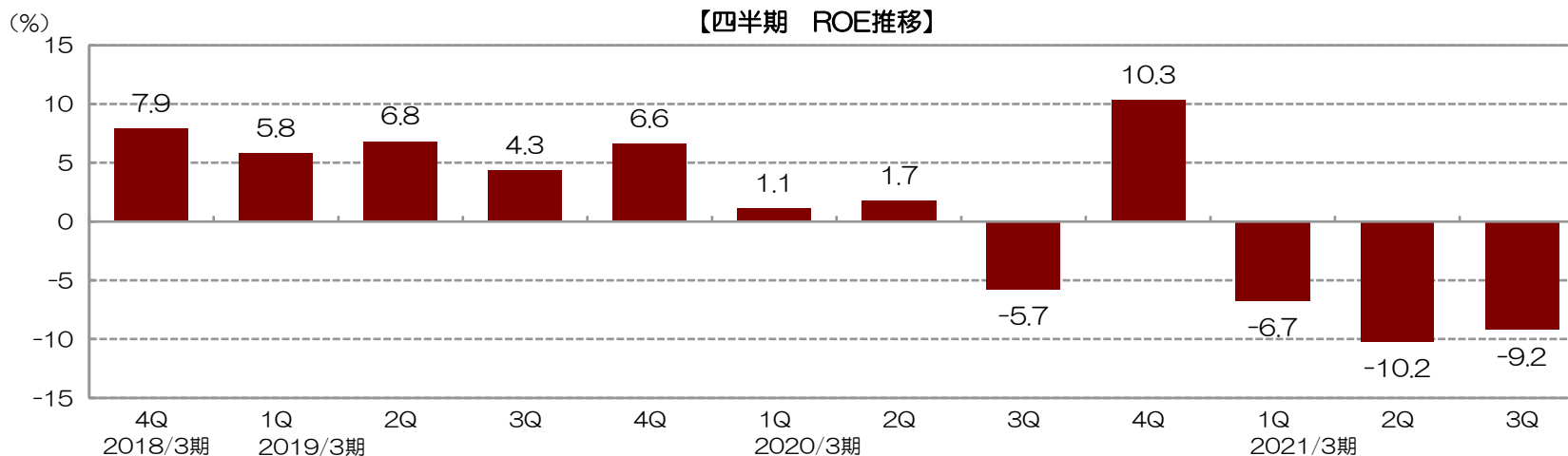




# 主要経営指標推移

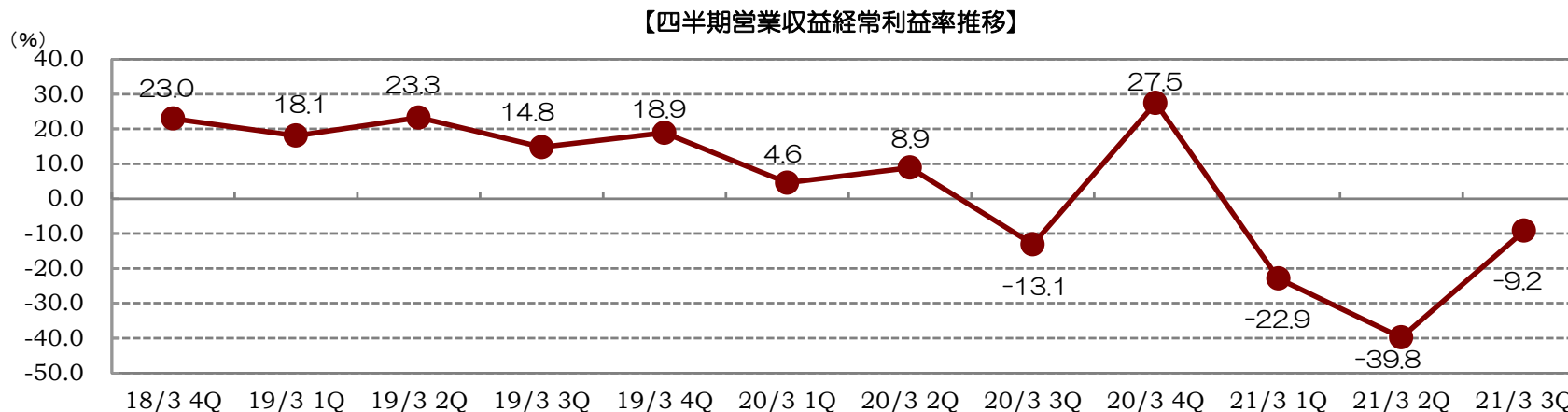
Money Partners Group

## ROE及び営業収益経常利益率推移



※：四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。  

$$\text{ROE (年換算)} = \frac{\text{親会社株主に帰属する四半期純利益} \times 4}{(\text{四半期期首自己資本} + \text{四半期期末自己資本}) \div 2} \times 100$$





## 後発事象（2021年1月29日開示）①

### ▶ コイネージ社（暗号資産交換業）の事業撤退

コイネージ社の経営成績（2020年3月期）

営業収益 一百万円、 営業損失 △353百万円、 経常損失 △355百万円

コイネージ社では、2020年7月27日の開業以来、暗号資産の現物販売所としての事業を行ってまいりました。

しかしながら、暗号資産交換業の登録事業者が増加し競争が激化する中、計画していた顧客獲得、収益を大きく下回る状況が継続しており、将来的にも当該事業の業績の改善を図ることは困難であると判断し、当社連結子会社のマネーパートナーズ社への経営資源の選択と集中を目的として、コイネージ社による当該事業からの撤退を決定いたしました。





## 後発事象（2021年1月29日開示）②

### ▶ マネーパートナーズ社の新規事業開始（予定）

「暗号資産関連店頭デリバティブ取引」（CFD（差金決済取引））

事業開始期日 2021年6月末（予定）

マネーパートナーズ社は、暗号資産現物の受渡しを行わず、取引金額の一部として証拠金を預託し、暗号資産の価格を参照し取引開始時と終了時の価格差に相当する金銭を授受することで決済する差金決済取引である「暗号資産関連店頭デリバティブ取引」にかかる事業を開始することを決定いたしました。

## Ⅱ.当社の経営目標及び株主還元について





## ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率（ROE）及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2021年3月期第3四半期（2021年10～12月）のROEは▲9.2%

※：四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE（年換算）＝（親会社株主に帰属する四半期純利益×4）÷（（四半期期首自己資本＋四半期期末自己資本）÷2）×100

▶ 2021年3月期第3四半期（2021年10～12月）の営業収益経常利益率は▲9.2%



# 株主還元について

## 配当方針

### 配当性向

親会社株主に帰属する当期純利益の

**30%**を目処

### 配当機会

**中間及び期末** (年2回)

	2020年3月期				2021年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	38	57	▲190	344	▲223	▲332	▲297	—
上段：3ヶ月	38	95	▲94	249	▲223	▲556	▲848	—
下段：累計								
配当金の総額 (百万円)	65		97		16		—	
期末発行済 株式総数 (株)	33,801,900		33,801,900		33,801,900		—	
	(内、自己株式1,202,300)		(内、自己株式1,202,300)		(内、自己株式1,202,300)			
1株当たり 配当金	2.0円		3.0円		0.5円		未定	
中間・期末 年間	5.0円				未定			

2021年3月期第2四半期連結業績や経営環境等を勘案しつつ安定配当を重視した結果、1株当たり中間配当金を0.5円とすることといたしました。



# 取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額（スプレッド）があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの建玉必要証拠金金額は原則、一般社団法人金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料（消費税込み）、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円（消費税込み）をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況（財務・経営状況を含む）の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ（元本欠損リスク）があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ（金融商品取引業者・商品先物取引業者）

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長（金商）第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会



# 取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

## 当社の提供する暗号資産取引のリスク等重要事項について

- ・当社の取り扱う暗号資産は、本邦通貨または外国通貨ではありません。また特定の国家または特定の者によりその価値が保証されているものではありません。暗号資産は代価の弁済のために使用することができますが、代価の弁済を受ける者の同意がある場合に限りです。
- ・取り扱う暗号資産については、こちらをご参照ください。
- ・当社の提示価格には買付価格と売付価格の差（スプレッド）があります。スプレッドは暗号資産の価格の急変時や流動性の低下時には拡大することがあり、お客様の意図した取引が行えない可能性があります。
- ・暗号資産の価値は暗号資産取引の需給バランスとともに様々な外部環境の変化により日々刻々と変動しています。天災地変、戦争、政変、規制強化、他の類似の暗号資産の相場状況、また予期せぬ特殊な事象などにより暗号資産の価格が急激に変動し大きく下落する可能性があります。結果として暗号資産の価値が購入時の価格を大きく下回るおそれがあります。また、法定通貨との交換が完全に停止する措置がとられるなどの場合、暗号資産の価値がゼロとなる可能性もあります。そのため取引対象である暗号資産の価格の変動により損失が生ずるおそれがあります。
- ・本取引の取引システムまたは当社とお客様を結ぶ通信回線等が正常に作動しないことにより、処理の遅延や注文の発注、約定、確認および取消等が行えない可能性があります。
- ・お客様からお預りしている暗号資産が、サイバー攻撃等によるハッキング・盗難その他の理由により不正に流出または紛失する可能性があります。お客様への補償を行わなければならない事態が生じた場合、当社の財政が破綻し、お客様に十分な補償を行うことができない可能性があります。
- ・お客様からお預りした金銭および暗号資産は当社の金銭および暗号資産と分別して管理しています。（詳細は「取引説明書（契約締結前交付書面）」の『5. 利用者財産の安全管理方針』をご覧ください。）

### ①金銭の管理

楽天信託株式会社へ金銭信託を行い、自己の資産とは分別して管理しております。

### ②暗号資産の管理

- ・当社がお客様用として管理運用するマルチシグ対応のコールドウォレットにて、お客様からお預りした全ての暗号資産を自己の暗号資産と分別し、お客様ごとの保有数量が帳簿により直ちに判別できる状態で管理しております。
- ・当社および暗号資産の流動性供給者（カバー取引先）、または当社預入の金融機関の業務・財産の状況が悪化した場合、お客様資産の返還が困難あるいは遅延することで、お客様に損失が生ずるおそれがあります。
- ・その他暗号資産取引に関するリスクの詳細はこちらをご覧ください。
- ・手数料やその他費用等はこちらをご確認下さい。各種手数料については当社で適宜変更できるものとします。
- ・ハードフォークへの対応およびハードフォークにより新たに作られる暗号資産に関する対応については、「取引説明書（契約締結前交付書面）」の『6. ハードフォークおよび新コインへの対応』をご覧ください。
- ・お問い合わせ、苦情または相談先、指定暗号資産交換業務紛争解決機関についてはこちらをご覧ください。

商号等：コイナージ株式会社

暗号資産交換業者登録：関東財務局長 第00021号

加入協会：一般社団法人日本暗号資産取引業協会

# 2021年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ